

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

Ⅲ期非小細胞肺癌の放射線治療計画におけるハイブリッド強度変調回転照射法と強度変調回転照射法の線量分布の比較

[研究責任者]

放射線科 医師 片山 敬久

[研究の背景]

手術のできないⅢ期非小細胞肺癌に対し、(化学)放射線治療は標準治療になっています。今回の研究では、当院でも 2025 年 4 月以降行えるようになる、ハイブリッド強度変調回転照射法(hybrid-VMAT)と強度変調回転照射法(VMAT)という 2 つの放射線治療の標準的照射法を比較検討することにより、よりよい治療効果と副作用軽減に結びつくのではないかと考えられます。

[研究の目的]

Ⅲ期非小細胞肺癌に対する根治的放射線治療の照射法として hybrid-VMAT と VMAT のどちらが良いのかを明らかとすることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

Ⅲ期非小細胞肺癌の患者さんで、当院で 2022 年 1 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の間に根治的放射線治療を受けた方

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、実施許可日から 2029 年 3 月 31 日
利用または提供を開始する予定日：委員会承認後、1 週間後を予定

●利用する試料 (血液・組織等の検体)、カルテ等の情報について

・試料：利用予定なし

・カルテ等の情報

年齢、性別、診断名、原発巣の側性、原発巣の部位、組織型、ステージ、放射線治療計画用 CT データ

●試料や情報の管理

当院で研究代表者が適切に保管・管理します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

[研究の資金源、利益相反について]

本研究は、実施に際しては特段の費用を要しないため、特定の研究資金は用いません。この研究における当院の研究者の利益相反※については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究者の利益相反については、それぞれが所属する機関において、適切に管理されています。

※外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

放射線科 医師 片山 敬久

電話 086-294-9911 FAX 086-294-9255